

大津町生涯学習センター改修基本構想 (案)

令和8年3月
大津町 教育委員会 生涯学習課

目次

1. 基本構想策定の背景と目的

1.1. 背景	1
1.2. 目的	1
1.3. 施設概要	2
1.4. センター利用者の推移	3
1.5. 計画期間	3

2. 施設の現状

2.1. 主な改修履歴	4
2.2. 現状と課題点	5

3. 今後のセンター運営の方針

3.1. 課題解決の方向性	8
3.2. センター運営の基本的な方針	8

4. 主な改修方針（案）の概要

■建物の耐久性向上	9
■建物の省エネルギー化	9
■施設の機能・性能向上	10
■避難所としての機能維持	11

《別添資料》

- 大津町生涯学習センター長寿命化改修における施設機能の変更検討
- 大津町生涯学習センター 既存平面図
- 大津町生涯学習センター 改修案概要平面図

1. 基本構想策定の背景と目的

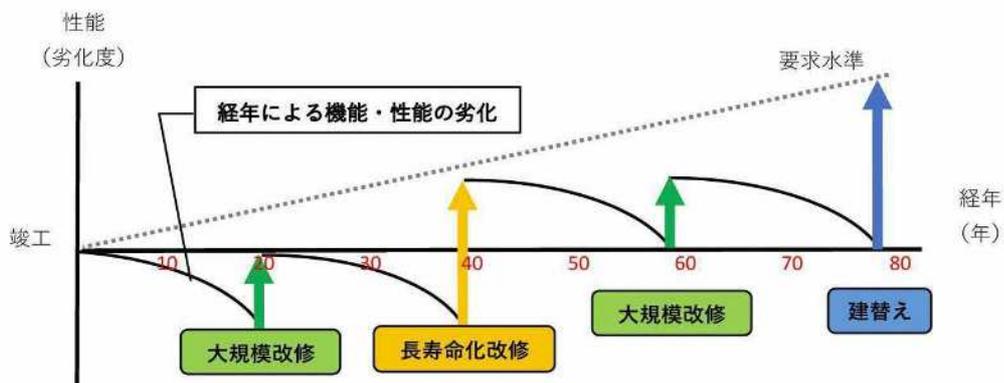
1.1. 背景

当該生涯学習センターは、大津町役場から南東へ約 700mの国道 57 号線沿いに位置し、研修室や調理室など生涯学習機能を有する中央公民館と、舞台ホールなど文化活動の拠点となる文化ホールからなる複合施設であり、町内にある市民文化系施設（8 施設）の一施設です。当該施設建物は昭和 58 年（1983 年）の竣工より 42 年（2026 年 3 月現在）が経過しておりますが、時代の変化に応じた機器の更新や改修工事により、今日に至るまで町民の皆様が安全で快適に利用できるように施設機能を維持してまいりました。しかし昨今急速に変化していく社会情勢において、高度化・多様化する町民ニーズに対しても適切で迅速な対応が求められるなか、財政負担の軽減の点からも、既存建物を有効活用した施設の更新が必要となっております。

大津町による「大津町公共施設等総合管理計画（平成 27 年 3 月策定：令和 6 年 3 月改訂）」策定を受け、公共施設の全体像の把握、横断的かつ長期的な視点における更新・統廃合・長寿命化について定めた「大津町個別施設計画（令和 3 年 3 月策定：令和 6 年 3 月改訂）」において、当該生涯学習センターについては施設の現状を踏まえ、目標耐用年数を 80 年と定めた長寿命化改修による施設更新の方針を示しました。

1.2. 目的

当該生涯学習センターにおいては、「大津町公共施設等総合管理計画」及び「大津町個別施設計画」における基本方針に基づき、施設の長寿命化及び適正な維持補修計画による既存施設の有効活用を図るため、当該改修基本構想を策定し、施設の現状把握とともに適切な改修方針を定め、町民ニーズへ対応した施設づくりを目的とします。



大規模改修	長寿命化改修	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能向上工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障、不具合修繕 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁、屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

【長寿命化概念図表※「大津町個別施設計画」より抜粋】

1.3. 施設概要

- 施設名 : 大津町生涯学習センター
- 施設用途 : 複合施設（中央公民館、文化ホール）
- 主な施設機能 :

【中央公民館】

- ・ロビーエントランス : 208 m²
- ・事務室 (1) : 64 m²
- ・事務室 (2) : 120 m² (文書庫・物品庫兼用)
- ・研修室 : 46 m² (収容人数 20 名程度)
- ・調理実習室 : 96 m² (調理台 6 台)
- ・和室 : 46 m² (24 畳)
- ・大会議室 : 200 m² (収容人数 100 名程度)
- ・中会議室 : 96 m² (収容人数 30 名程度)
- ・パソコン室 : 56 m² (収容人数 20 名程度)

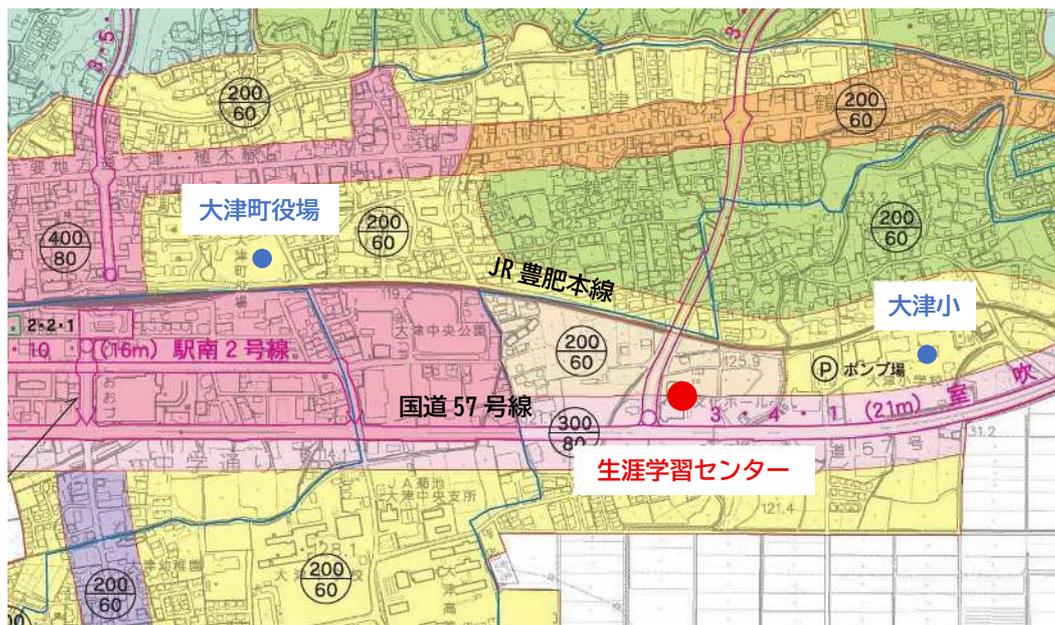
【文化ホール】

- ・舞台ホール : 623 m² (500 席、車椅子用 4 席)
- ・楽屋 : 38 m²
- ・リハーサル室 : 30 m² (収容人数 20 名程度)

- 施設住所 : 菊池郡大津町大字引水 6 2 番地
- 都市計画区域 : 大津都市計画区域
- 地域地区 : 近隣商業地域 (特別用途地区)
第二種住居地域
- 敷地面積 : 7,580.86 m²
- 建物竣工年 : 昭和 58 年 (1983 年)
- 構造・規模 : 鉄筋コンクリート造・地上 3 階建 他
- 延べ面積 : 2,853.59 m² 他



【写真：生涯学習センター外観】

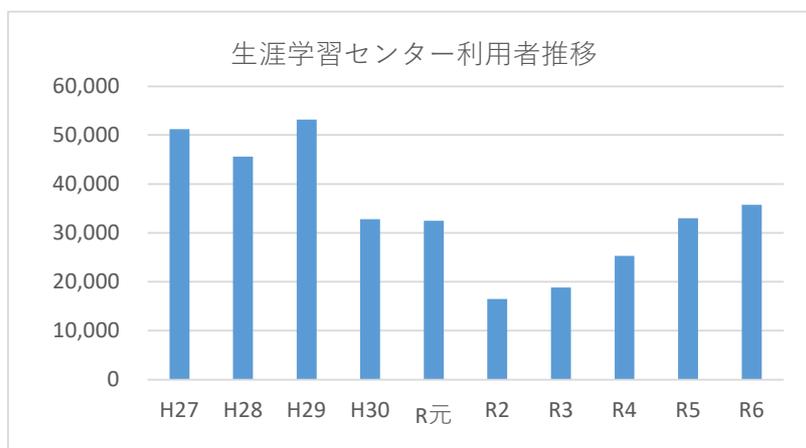


【生涯学習センター位置図】

1.4. センター利用者の推移

当該生涯学習センターにおける過去10年の利用者の推移は次のとおりです。平成29年度は平成28年度熊本地震の影響にもかかわらず5万人以上が利用していましたが、年々減少傾向で推移しており、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症による影響により、1.6万人まで落ち込みました。その後、令和6年度に3.5万人の利用がありました。ピーク時までは回復していません。原因として、感染症への懸念やコロナ禍で定着した生活様式の変化、地域コミュニティの変化があると思われます。

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	51,215	45,577	53,163	32,827	32,453	16,476	18,846	25,310	32,971	35,722



【図：過去10年における生涯学習センター利用者推移のグラフ】

1.5. 計画期間

当該生涯学習センターにおける実施計画については下記のとおりです。

- ・令和7年度、令和8年度：基本構想策定期間
- ・令和8年度：基本設計期間
- ・令和9年度：実施設計期間
- ・令和10年度、令和11年度：改修工事期間

計画期間については、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて見直しを行うものとします。

2. 施設の現状

2.1. 主な改修履歴

開館当初からの主な改修履歴は下記表による

西暦	和暦	築年数	生涯学習センター			主な改修内容
			中央公民館	文化ホール	他	
1983	S58	0	生涯学習センター新築			
}						
1993	H5	10				
1994	H6	11			E V棟増築工事	
}						
2003	H15	20		吊物改修工事		ワイヤ、滑車、マニラロープ、幕地等取替
2004	H16	21		空調機器改修工事		冷却塔改修、冷却水ポンプ取替、温水ポンプ取替等
				舞台照明等改修工事		舞台照明設備更新、電灯コンセント設備カメラ設置工事等
					旧体育館取壊撤去工事	旧体育館撤去
}						
2006	H18	23			周辺整備工事	身障者用駐車場
					外壁改修工事	外壁改修
}						
2008	H20	25		客席改修工事		客席の改修及び席数の変更（500席）
				音響設備改修工事		音響改修
					周辺整備工事	排水設備、舗装緑石、植栽工、照明設備等車庫
				舞台設備改修工事		緞帳マシン、ローブロック、スクリーン枠等
}						
2011	H23	28	トイレ等バリアフリー工事			トイレ改修
2012	H24	29	単独空調改修工事			和室空調機改修
2013	H25	30	会議室等空調設備改修工事			大会議室・中会議室・調理室・旧図書室・視聴覚室及び室外機等改修
					太陽光発電設備設置他工事	生涯学習センター屋根に太陽光発電機設置
				空調設備改修工事		空調改修
				空調等改修工事		空調改修
}						
2021	R3	38			高圧受電設備更新工事	キュービクル更新
2022	R4	39			高圧ケーブル更新工事	高圧ケーブル更新
2023	R5	40				
}						
2025	R7	42		舞台機構設備改修工事		引割幕、大黒幕、緞帳用滑車等更新

【凡例】

- ：建築を主体とした工事を示す
- ：電気設備を主体とした工事を示す
- ：機械設備を主体とした工事を示す
- ：舞台装置を主体とした工事を示す

2.2. 現状と課題点

□外壁

目立ったひび割れやタイルの剥落は確認されていないが、塗装の浮き及び膨れ並びに雨だれ等による汚染が見受けられる。



【写真 1-1：建物外観（東面）】

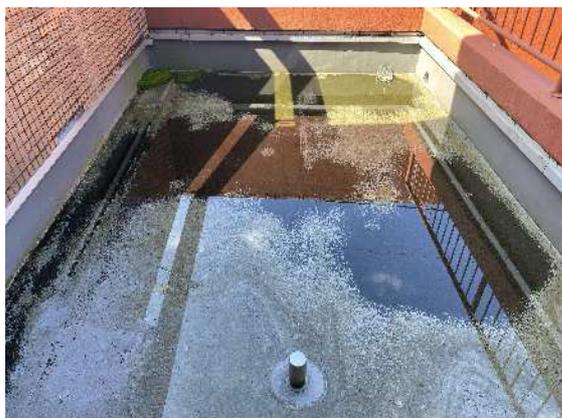


【写真 1-2：塗装の膨れ箇所】

□屋根・屋上

部分的な防水層の劣化や勾配不良による雨水の滞留が確認されている。

屋上には高架水槽、非常用発電機、キュービクル、太陽光発電パネル等設備機器が設置されている。



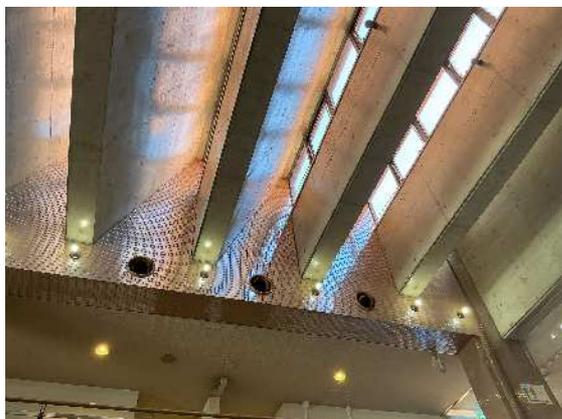
【写真 2-1：雨水の滞留】



【写真 2-2：屋上設備機器】

□ハイサイドライト（高窓）

町民ホールの天井に採光用のハイサイドライトが設置されており現在雨漏りが確認されている。



【写真 3-1：ハイサイドライト（内観）】



【写真 3-1：ハイサイドライト（外観）】

□トイレ・多目的トイレ

一部の大便秘器が和式の仕様となっている。多目的トイレについてはオストメイトに対応した水栓器具の設置が未対応である。



【写真 4-1：和式便器】



【写真 4-2：多目的トイレ】

□エレベーター

別棟でエントランス等から離れた配置となっており、1階のエレベーターホールについては外部を経由して利用する必要がある。



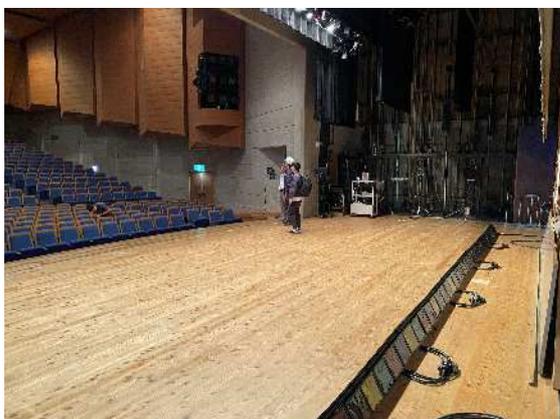
【写真 5-1：1階エレベーターホール】



【写真 5-2：2階エレベーターホール】

□舞台ホール

ステージについて床材の劣化や利用者より広さについて（奥行きが狭い等）意見が上がっている。



【写真 6-1：ステージ】



【写真 6-2：客席】

□電気設備

(照明設備)

- ・施設内の大半がLED化に未対応。ホール部分は照度不足が懸念される。

(構内交換設備)

- ・機器更新後9年が経過しており既設機器は製造中止となっている。

(TV共聴設備)

- ・建設当初から更新がなされていない。

(拡声設備)

- ・非常放送アンプ、2階中会議室の音響設備が、建設当初から更新がなされていない。

(呼出設備)

- ・多目的トイレ緊急呼出装置が建設当初から更新がなされていない。

(自動火災報知設備)

- ・受信機が更新後、20年経過している。

(発電機設備)

- ・建設当初から更新がなされていない。

(舞台照明・音響設備)

- ・舞台照明設備は推奨更新年数(10年)を超過して使用されている。
- ・舞台音響設備は2008年に更新されているが、点検記録の結果、不具合報告が上がっている。

□機械設備

(衛生設備)

- ・便器等衛生器具の自動水栓化(非接触化)がなされていない。

(給水設備)

- ・高架水槽方式による。定期的な清掃等のメンテナンスが必要であり、停電時は高架水槽貯水分しか給水ができない。

(消火設備)

- ・屋内消火栓設備は、1号屋内消火栓が設置されており、使用時の水量が多いため消火時の1人での操作が難しいことが懸念される。

(ガス設備)

- ・ガスボンベ庫集合装置は、使用期限が超過している。

(空調設備)

- ・2013年に更新済み。5年～10年後に更新が必要。

(換気設備)

- ・2013年に更新済み。5年～10年後に更新が必要。

(機械排煙設備)

- ・建設当初から更新がなされていない。

(集中管理設備)

- ・2013年に更新済み。5年～10年後に更新が必要。

3. 今後のセンター運営の方針

3.1. 課題解決の方向性

センターの現状課題の解決に向けて、長寿命化改修の基本的事項である経年劣化に対する機能回復及び耐用性、快適性、省エネ性を確保する機能向上を図るとともに、施設サービスの利用状況や利用率の見直し、またパブリックコメント等の手法により町民ニーズを把握することで、施設機能の変更等を踏まえた適切な改修方針を定めていきます。

3.2. センター運営の基本的な方針

当該センターは、住民の自主的・継続的な学習活動の場を提供し、文化振興、各種講座、スポーツイベント等の開催を通じて、地域における生涯学習の推進と豊かな生活の実現を目的としています。そのためセンターが有する多様な施設機能を活用し、各種講座や公民館事業の実施によって町民の生涯にわたる学習機会を提供するとともに、町民の自発的な学習活動や交流を支援することで、町民の豊かな生きがいづくりの促進に寄与してきました。

今後も町内の文化系施設の一施設として、生涯学習のさらなる推進と地域づくりに貢献することを目指します。この目標達成に向け、多様な世代のニーズに応じた公民館講座や文化ホール事業等を提供し、町民が学びを深め、その知識を地域に還元し、まちづくりに活かせるよう支援に努めます。住民の教養向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉増進に寄与する文化活動を、関係団体と協働で推進を図ります。

公民館講座や文化活動を通じた生涯学習人材の育成、町民が利用しやすい「居場所」となる生涯学習施設の運営、そして実効性のある情報発信により、活動参加を促していきます。PTA や子ども会を含む社会教育団体の育成・支援を進め、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える地域学校協働活動への町民参加を促進し、地域活性化に貢献していきます。

4. 主な改修方針（案）の概要

■建物の耐久性向上：経年劣化によって低下している機能を回復させるだけでなく、より耐久性に優れた仕上げ材で取り換えることで建物の長寿命化を図ります。

（主な改修方針等）

・外壁の塗装改修及び屋根（屋上）の防水改修：

前回の外壁改修から耐用年数より更新時期を迎えていることに加え、塗装の膨れや剥離及び内部で雨漏りも確認されていることから、外壁塗装及び防水の改修が必要である。

・老朽化した設備機器等（給排水、衛生器具、防災機器等）の更新：

建設当初から更新されていないものや改修後耐用年数を超過している機器が確認されていることから、省エネ化、故障リスク削減、安全性の確保のため更新が必要である。

■建物の省エネルギー化：建物の断熱性能の向上や高効率な設備機器への取り換えにより環境負荷及びランニングコストの低減を図ります。

（主な改修方針等）

・窓（複層ガラス等への）改修：

屋内の熱の流出入は大半が窓からのものとされるため、断熱性の高い窓フレーム又は複層ガラス等への交換、内窓の設置（二重サッシ）等により断熱性能の向上を図る。

・エントランスへの風除室の設置（空調の効率化）：

エントランス等のメインとなる出入口部分に風除室を設けることで、直接外気が屋内に流入するのを防ぎ、冷暖房効率を高める。



【風除室イメージ】

・照明器具のLED化：

蛍光灯等を使用する既存照明機器が大半を占めているため、LED照明への改修による消費電力削減と長寿命化により電力及びメンテナンスのコスト削減を図る。

・節水型衛生器具への更新：

節水型の便器や洗面を自動水栓とすることで過度な水の使用量を抑え、コスト削減及び環境負荷低減を図る。

・高効率空調機器への更新：

前回の改修より更新時期を迎えるものから計画的に随時高効率空調機への更新を検討する。

■施設の機能・性能向上：施設の機能や性能を現在の町民ニーズの水準まで引き上げることで、利用者の利便性向上とともに、施設の利用率を上げることで施設運営の質の向上を図ります。

(主な改修方針等)

・カウンター形式の窓口による事務室のオープン化：

既存の事務室はロビーに面した窓口が狭く、来館者の対応や館内への視認性確保が困難な状況にあるため、窓口対応の改善及び安全性確保等の観点から、カウンター形式としたオープンな事務室改修を検討する。

・ロビーエントランスへの大型モニターや情報ディスプレイの設置：

施設情報の発信やロビーエントランスの多目的利用を図るために、大型の情報ディスプレイやモニターの設置を検討する。

・館内（ロビーエントランス）へのエレベーター設置：

現在エレベーターはセンターに隣接する別建物に設置されている。2階部分は渡り廊下によって屋内で接続されているが、1階部分はエントランスから屋外を経由するかたちでの利用となるため利便性や管理性に課題がある状態である。このことから改修にあたってエレベーターを館内のロビーエントランスへの設置を検討しこれら課題の解消を図る。

・舞台ホールステージ拡張、客席の更新：

舞台ホールについては、楽団による公演等の際に、オーケストラの配置においてステージが狭いなど利用者からの意見が寄せられている。簡易的なステージ拡張により対応してきたが、ステージ床材の更新とともに、拡張改修及び客席の更新を検討する。

・調理実習室の調理器具の更新：

ガスコンロ仕様の調理台の一部を一般に普及しているIHコンロ仕様のものへ更新する。災害時の避難所としての機能維持の観点から、一定の調理台はガスコンロの仕様を維持する。

・一部施設の機能変更（パソコン室→小会議室・研修室）：

時代の変遷による利用形態の変化や稼働率が高くない施設については、当該機能を見直し、利便性が高い施設へと改修を行う。

・内装改修：

各諸室の内装については、経年や破損により著しく美観や機能を損ねる部分の改修を行う。

■避難所としての機能維持：災害時の避難所としての機能を確保するために施設の防災機能の強化を図ります。

(主な改修方針等)

・給水方式の見直し（高架水槽方式→貯水機能付給水管による水道直圧方式）：

既存の高架水槽方式では、一度地上に設置されている受水槽に貯めた水道水を電力（ポンプ）によって屋上に設置されている高架水槽に運ぶため、停電時には高架水槽の貯水分までしか使用ができない。そこで水道管から直接給水できる水道直圧方式に見直すことで、停電時の給水確保を図る。断水時でも一定の給水が確保できるように水道管の一部を貯水タンクとした貯水機能付給水管を検討する。



【既存高架水槽（センター屋上）】



【貯水機能付給水管イメージ】

・熱源を電気（EHP）とガス（GHP）を併用した空調方式への一部改修：

空調設備の一部にガスによる熱源方式の採用を検討することで、停電時においても使用できるように避難所としての環境整備を図る。

・発電機設備の更新：

建設当初より更新されていないため、防災負荷の必要性を検討した上で更新を行う。

・備蓄倉庫等のスペース拡充：

利用されていない階段下スペース等を活用して倉庫とすることで保管スペースの拡充を図る。

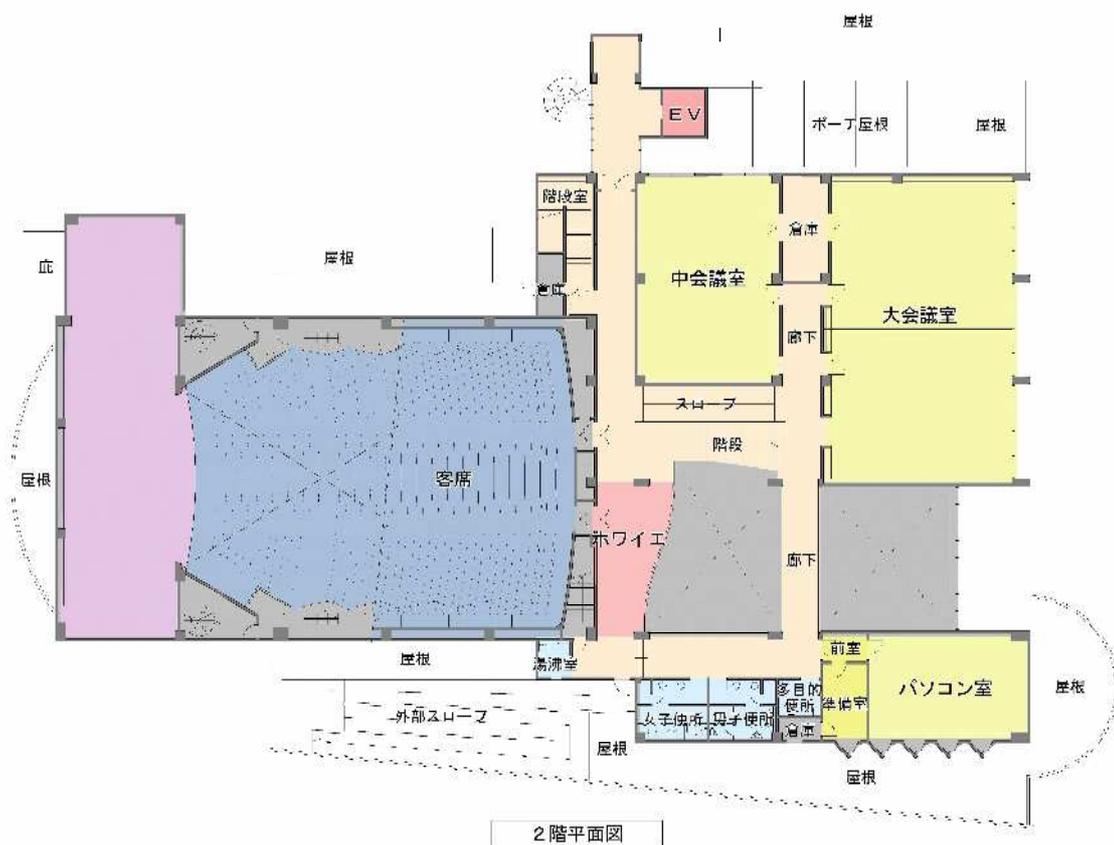
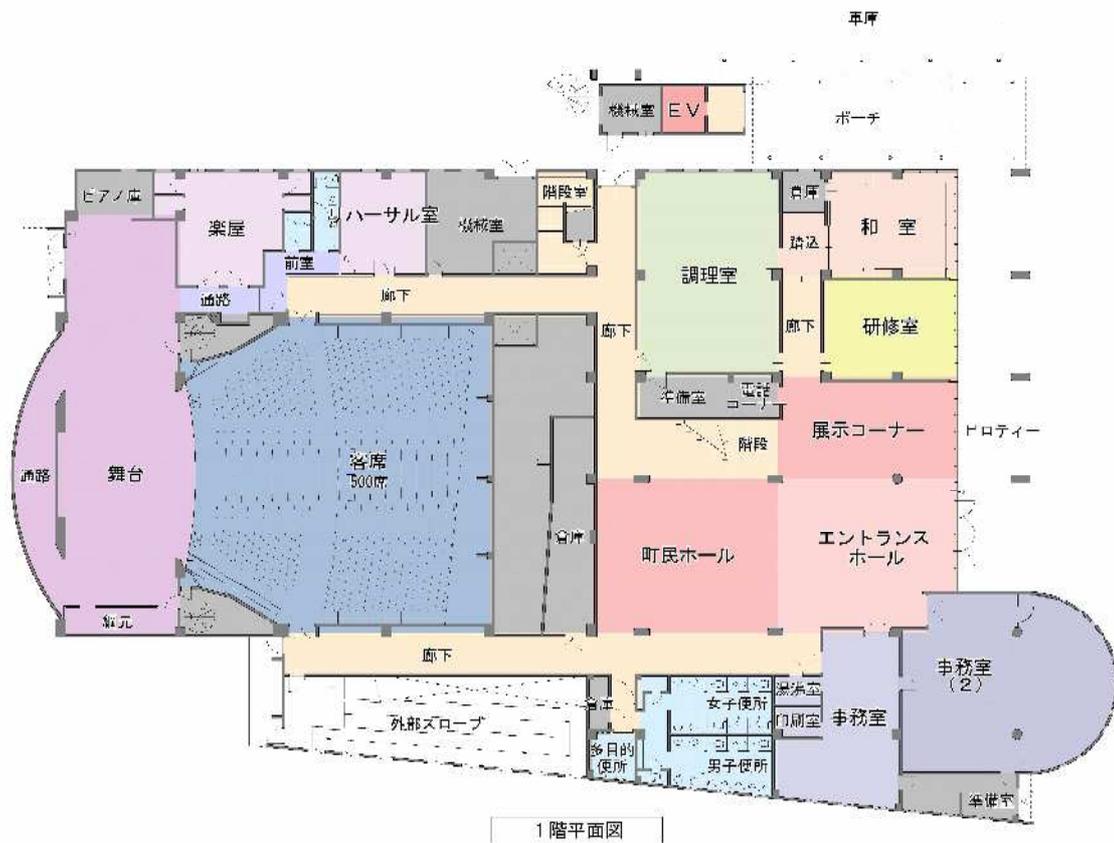
■ 大津町生涯学習センター長寿化改修における施設機能の変更検討

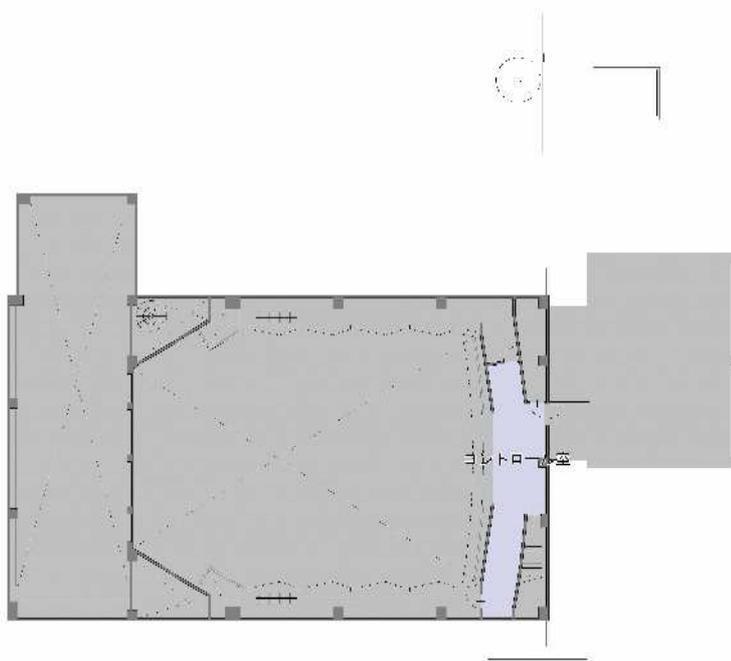
○公民館							
室名	従前の利用状況			用途変更案		備考	
事務室 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体に係る執務室 ・センター、公民館利用者の対応窓口 			用途 (変更無)	事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・メインエントランスに隣接しており施設全体の管理を行いやすいため、現状の位置とする ・事務室は隣接する事務室2とワンフロア一化を図るとともにオープンなカウンター形式とすることで、窓口対応の機能向上を図る ・内装の改修に合わせOAフロア一化することで事務機器等の配線の簡素化による事務機能の向上を図る 	
	機能・利用方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前どおり事務室として利用を基本とする。また、事務室2との一体化を図る ・対応窓口の拡張 ・事務室全体のオープン化 ・OAフロア一化 						
	設置階						
	1	稼働率		%			
面積 (㎡)	年間	359 /365 (日)	98%				
64.07	実営業日	359 /359 (日)	100%				
事務室 (2) (旧児童室)	<ul style="list-style-type: none"> ・「クラブおおづ」の事務局として利用 ・文書及び物品の倉庫として利用 			用途 (変更無)	事務室、倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する事務室とワンフロア一化を図ることで事務機能の向上を図る ・内装の改修に合わせOAフロア一化することで事務機器等の配線の簡素化による事務機能の向上を図る 	
	機能・利用方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前どおり事務室として利用を基本とする。また、事務室 (1) との一体化を図る。 ・対応窓口の拡張 ・事務室全体のオープン化 ・OAフロア一化 						
	設置階						
	1	稼働率		%			
面積 (㎡)	年間	359 /365 (日)	98%				
119.62	実営業日	359 /359 (日)	100%				
研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、研修、サークル活動等で利用 			用途 (変更無)	研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・定員20名ほどの規模であり需要が高いことから現状の利用形態を維持する 	
	機能・利用方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前どおり研修室として使用 ・内装改修 						
	設置階						
	1	稼働率		%			
面積 (㎡)	年間	242 /365 (日)	66%				
45.90	実営業日	242 /318 (日)	76%				
和室	<ul style="list-style-type: none"> ・講座、サークル活動 (ヨガ、ピラティス、茶道等)、ホール利用時の託児場所等で利用 			用途 (変更無)	和室	<ul style="list-style-type: none"> ・24畳と広めの和室で需要が高いことから現状の利用形態を維持する 	
	機能・利用方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前どおり和室として使用 ・内装改修 						
	設置階						
	1	稼働率		%			
面積 (㎡)	年間	219 /365 (日)	60%				
45.90	実営業日	219 /318 (日)	69%				
調理実習室	<ul style="list-style-type: none"> ・講座、料理教室、町料理団体活動場所として利用 			用途 (変更無)	調理室	<ul style="list-style-type: none"> ・他の町内施設と比べても規模が大きく、需要が高いため現状の利用形態を維持する ・災害時の避難所としての機能維持の観点から、一定の調理台はガスコンロの仕様を維持する 	
	機能・利用方法						
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前のとおり調理室として利用 ・IHコンロへ更新 (全体の半分程度) ・調理器具の更新 ・内装改修 						
	設置階						
	1	稼働率		%			
面積 (㎡)	年間	104 /365 (日)	28%				
96.00	実営業日	104 /318 (日)	33%				

○公民館						
室名	従前の利用状況			用途変更案	備考	
大会議室	・ 講座、研修会、説明会等で利用			用途 (変更無) 大会議室、研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員100名ほどの規模であり、町内施設でも希少なため需要が高いことから現状の利用形態を維持する ・ 放送設備機器や遮光カーテン等の備品類については更新を検討 ・ 移動式の間仕切り壁等内装改修 	
				機能・利用方法		
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 従前のおり会議室として利用 ・ 放送設備、照明設備等の更新 ・ 内装改修 		
	設置階	稼働率				
	2	%				
面積 (㎡)	年間	168 /365 (日)	46%			
200.70	実営業日	168 /318 (日)	53%			
中会議室	・ 講座、研修会、説明会等で利用			用途 (変更無) 中会議室、研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の利用形態を維持 ・ 放送設備機器等の備品類については更新を検討 ・ 移動式の間仕切り壁等内装改修 	
				機能・利用方法		
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 従前のおり会議室として利用 ・ 放送設備、照明設備等の更新 ・ 内装改修 		
	設置階	稼働率				
	2	%				
面積 (㎡)	年間	230 /365 (日)	63%			
96.00	実営業日	230 /318 (日)	72%			
パソコン室 (旧視聴覚室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館講座等で利用 ※ 普段の貸し出しは行っていない公民館が実施する公民館講座等で利用 			用途 (変更) 小会議室、研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要の高い研修室と同規模な広さであることから、会議室として対応できる改修(上足仕様→下足仕様等)を行い一般に貸し出すことで稼働率を上げる 	
				機能・利用方法		
				<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン室としての機能も確保しつつ一般利用の貸し出しにも対応させる ・ 付随する前室や準備室部分も含め一室化することで室の拡張を図る 		
	設置階	稼働率				
	2	%				
面積 (㎡)	年間	62 /365 (日)	17%			
56.40	実営業日	62 /318 (日)	19%			

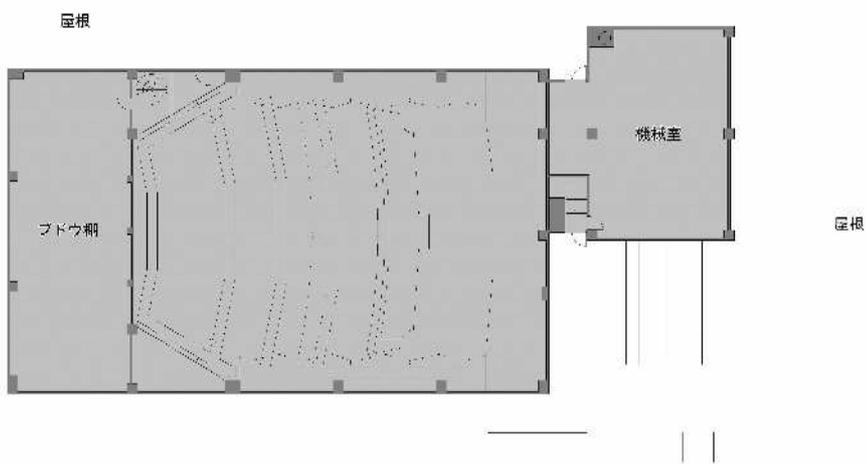
○集会所（文化ホール）							
室名	従前の利用状況			用途変更案		備考	
舞台ホール	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、式典、各種イベント、文化ホール事業運営委員会主催の公演等にて利用 			用途 (変更無)	各種イベント会場	<ul style="list-style-type: none"> イベント等で舞台が狭いことの指摘を受けているためステージ拡張を図る ステージ拡張に併せて客席の更新を検討 	
				機能・利用方法			
				<ul style="list-style-type: none"> 舞台ホールとしての利用を維持 舞台の拡張 ステージ板のリニューアル 			
				設置階			
				1	稼働率		%
面積 (㎡)	年間	152 /365 (日)	42%				
622.69	実営業日	152 /318 (日)	48%				
楽屋	<ul style="list-style-type: none"> ホール舞台出演者の控室として利用 			用途 (変更無)	ホール舞台出演者の控室	<ul style="list-style-type: none"> 現在の活用を維持する。 シャワー室の利用が見込めないためシャワー室は撤去する 2室に分割する移動式間仕切りの改修 	
				機能・利用方法			
				<ul style="list-style-type: none"> 楽屋としての活用を維持継続 シャワー室を更衣室へ変更 			
				設置階			
				1	稼働率		%
面積 (㎡)	年間	126 /365 (日)	35%				
37.77	実営業日	126 /318 (日)	40%				
リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> ホール舞台出演者のリハーサルの場として、ピアノ講座やリコーダー講座の音楽関係練習の場としても利用 			用途 (変更無)	リハーサルや練習の場	<ul style="list-style-type: none"> 現在の機能を維持する。 中央公民館側への音漏れへ配慮し間仕切壁の防音改修を行う 	
				機能・利用方法			
				<ul style="list-style-type: none"> リハーサル室としての機能を維持 音漏れ防止措置 鏡を壁一面に設置 			
				設置階			
				1	稼働率		%
面積 (㎡)	年間	198 /365 (日)	54%				
30.30	実営業日	198 /318 (日)	83%				
ロビーエントランス	<ul style="list-style-type: none"> ホールや大会議室を利用する際の受付や案内の場、打合せの場学習の場、作品展示の場等として利用 			用途 (変更無)	ロビーエントランス	<ul style="list-style-type: none"> ロビーエントランスの機能を維持とともに多目的利用が図れるよう機能の刷新が必要である（大型モニター設置等） 出入り口に風除室を設置することで冷暖房の効率化を図る。 備品格納スペースを確保しロビー内の安全性と機能性向上を図る。 	
				機能・利用方法			
				<ul style="list-style-type: none"> ロビーエントランスとしての機能を維持 多目的な利用を図るために大型モニター等の設置を検討 出入り口に風除室の設置 エレベーターの設置 情報ディスプレイの設置 備品格納スペースの増設 			
				設置階			
				1	稼働率		%
面積 (㎡)	年間	365 /365 (日)	100%				
208.35	実営業日	318 /318 (日)	100%				
コントロール室	<ul style="list-style-type: none"> 音響照明の操作室 			用途 (変更無)	音響照明操作	<ul style="list-style-type: none"> 現在の活用を継続する。 	
				機能・利用方法			
				<ul style="list-style-type: none"> 現在の機能利用を継続 			
				設置階			
				M3	稼働率		%
面積 (㎡)	年間	152 /365 (日)	42%				
	実営業日	152 /318 (日)	48%				

【 大津町生涯学習センター 既存平面図 】





M3階平面図



3階平面図

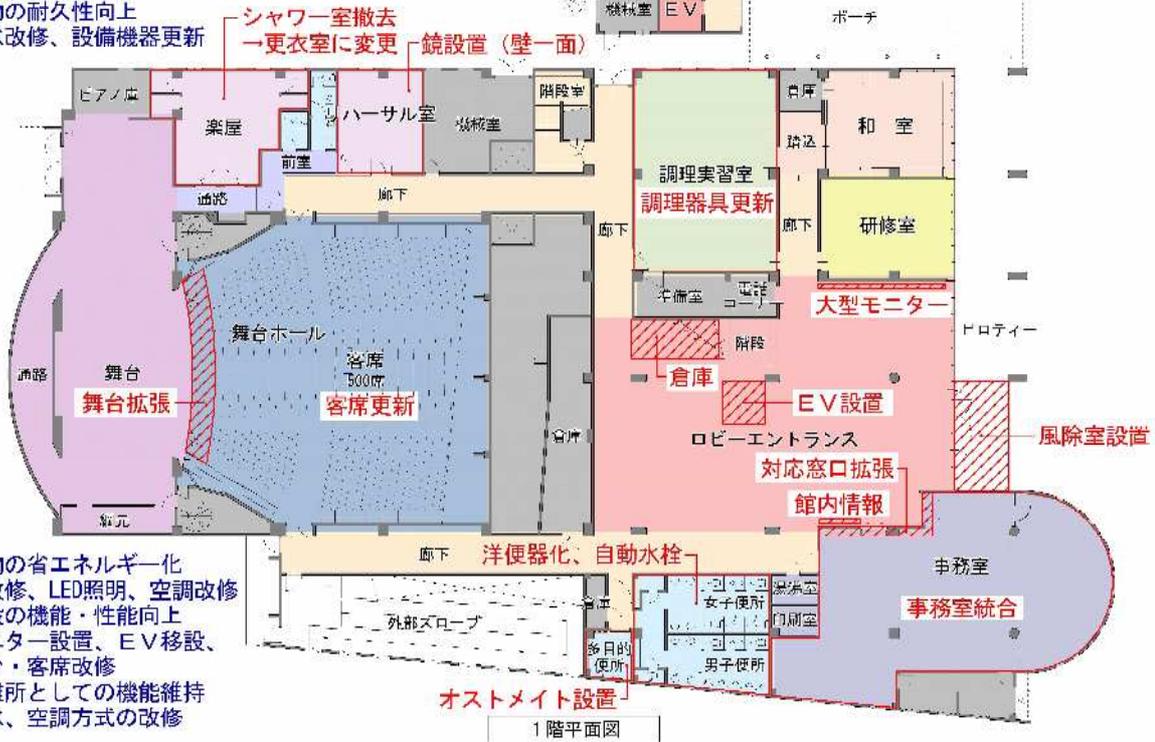


屋根平面図

【 大津町生涯学習センター 改修案概要平面図 】

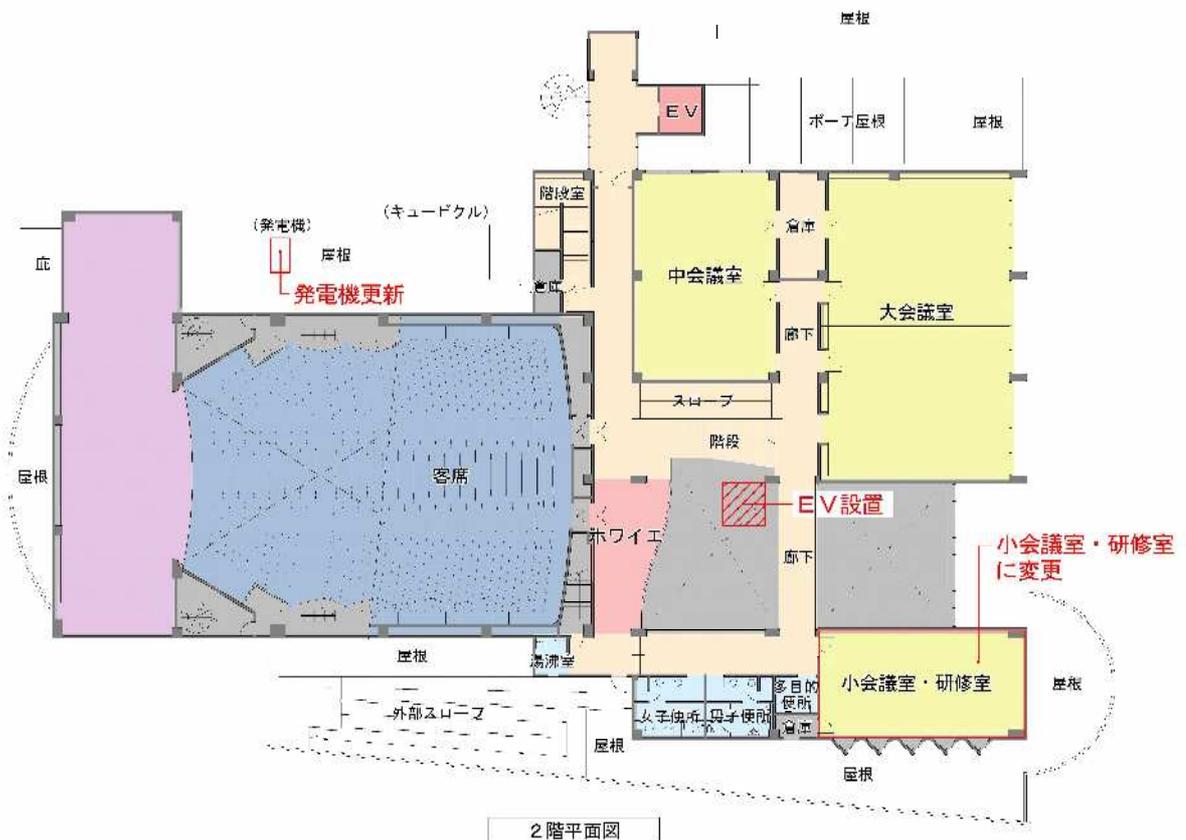
■主な改修内容

- 建物の耐久性向上
：防水改修、設備機器更新

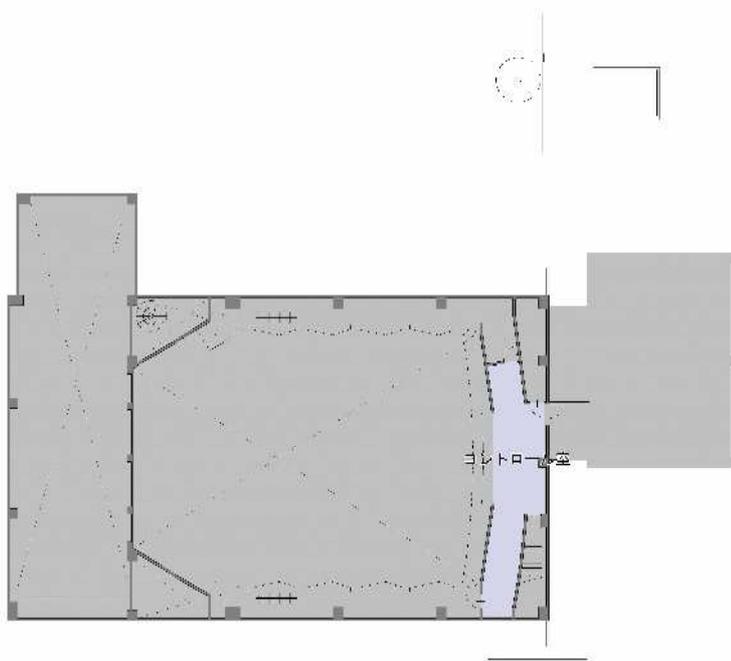


- 建物の省エネルギー化
：窓改修、LED照明、空調改修
- 施設の機能・性能向上
：モニター設置、EV移設、舞台・客席改修
- 避難所としての機能維持
：給水、空調方式の改修

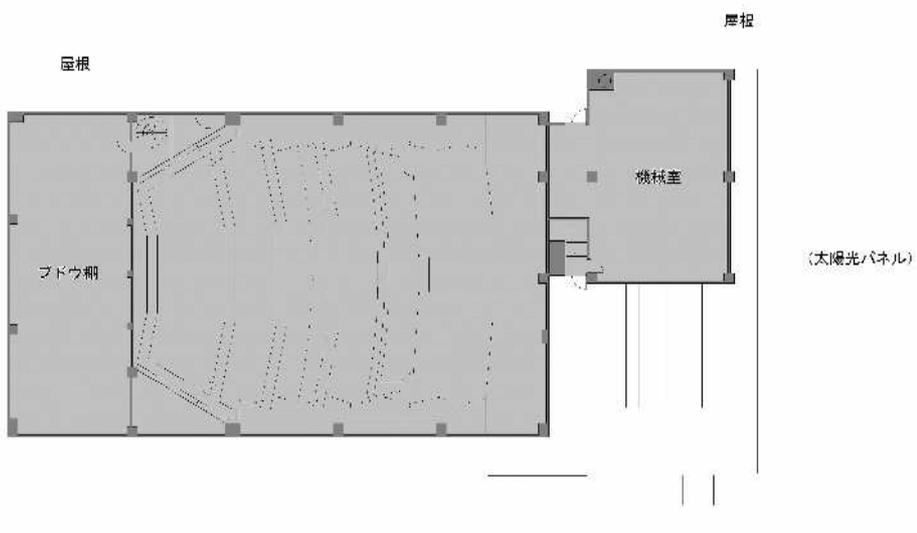
1階平面図



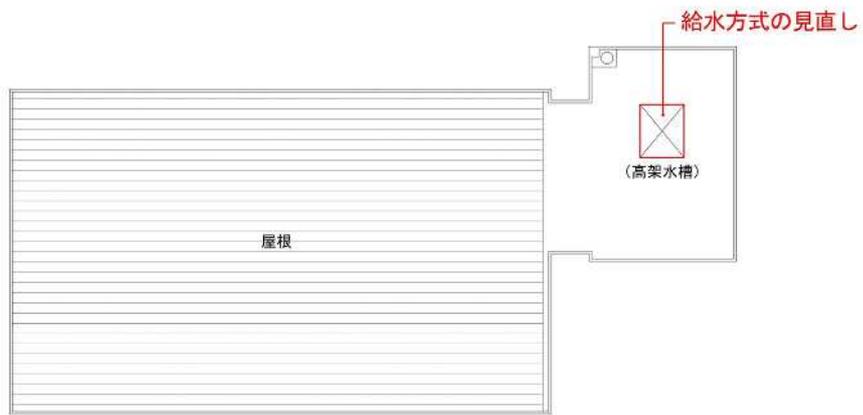
2階平面図



M3階平面図



3階平面図



屋根平面図